

第4 いわき出張所

(1) 被災者に対する健康支援

1 被災者健康サポート事業【全庁重点・所重点】

借上住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持できるよう、避難元市町村及びいわき市と連携しながら、健康支援活動の実施体制を整備するとともに、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた健康支援活動を実施しました。

(1) 仮設住宅・借上住宅・復興公営住宅等への家庭訪問

市町村からの依頼を受け、家庭訪問により、健康状態の把握を行い、健康相談、継続支援活動等を実施しました。

■家庭訪問等

単位：人

市町村	仮設住宅	借上住宅	復興公営住宅	個別相談	計
南相馬市	0	56	0	1	57
広野町	0	2	0	6	8
檜葉町	2	9	4	5	20
富岡町	0	39	3	4	46
大熊町	0	6	5	0	11
双葉町	0	42	8	1	51
浪江町	0	65	80	2	147
計	2	219	100	19	340

(2) 健康教育・健康相談会等の実施支援

市町村等が実施する交流会、サロン等に、保健師、看護師、管理栄養士等を派遣し、避難者の健康の保持・増進や介護予防等の活動を支援しました。

実施回数：延べ112回

参加人数：延べ2,651人

■市町村等主催サロン・健康相談会への専門職の派遣状況

市町村等	回数(回)	内容	参加者(人)
檜葉町	1	総合健診結果相談会	17
富岡町	54	健診結果返却会・介護予防教室 親子交流会・栄養サロン・男の料理教室	1,179
川内村	1	乳幼児健診	12
大熊町	7	総合健診・栄養サロン	852
双葉町	11	健診結果返却会・栄養サロン	187

市町村等	回数 (回)	内 容	参加者 (人)
いわき市内の復興公営住宅 下神白団地、湯長谷団地、 宮沢団地、北好間団地	38	介護予防活動・交流サロン・栄養サロン 健康セミナー	404
計	112		2,651

(3) 市町村事業の協力支援

平成 26 年度から市町村の依頼を受けて、特定健康診査を受けた 40～74 歳の方の一部について、動機付け及び積極的支援が必要な人へ家庭訪問又は電話指導等により特定保健指導を実施しました。

■特定保健指導実施状況

単位：人

市町村	平成 29 年度 特定健康診査受診者		平成 30 年度 特健康診査受診者		平成 30 年度 計
	動機付け 支援	積極的 支援	動機付け 支援	積極的支 援	
南相馬市	1	0	0	0	0
双葉町	19	8	6	4	10
浪江町	19	5	6	5	11
計	39	13	12	9	21

※平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月の間に訪問、電話、郵送等で支援した対象者数。

※平成 29 年度に依頼があった特定保健指導の最終評価等、平成 30 年度に依頼があった特定保健指導の初回面談、継続支援等を実施。

(4) 被災した障がい児・者の健康支援に係る関係機関との連携

ア 相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催

いわき地域に避難している障がい児・者の対応について、関係機関等が抱える問題や支援体制確保のための課題などについて、情報共有や課題検討を行いました。

■相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催状況

開催月日	参加団体（随時参加の団体も含む）
平成 31 年 1 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の杜福祉会 ・相談支援双葉事業所 ・基幹相談支援センターふたば ・相談支援事業所タラント ・福島復興局 ・いわき市 ・南相馬市 ・檜葉町 ・富岡町 ・大熊町 ・双葉町 ・浪江町 ・葛尾村 ・富岡支援学校

イ 双葉地方地域自立支援協議会との連携

いわき地域の課題について、双葉地方地域自立支援協議会構成機関等と情報を共有し、福祉支援体制の充実に向けて協議するため、自立支援協議会くらし部会に参画しました。

■双葉地方自立支援協議会への参加状況

会議名	参加月日
自立支援協議会くらし部会	平成30年5月28日、7月24日、 9月28日、11月9日、平成31年1 月23日、3月25日

ウ 療育支援に係る福祉担当者会議の開催

障がい児の療育体制整備及び通所施設の不足等の課題について、障がい児の日中一時支援、放課後等デイサービスの事業継続に向けて調整、検討するため、関係機関を招集し、担当者会議を開催しました。

■会議の実施状況

開催月日	参加機関
平成30年8月27日	・希望の杜福祉会 ・相談支援双葉事業所 ・基幹相談支援センターふたば ・福島復興局 ・いわき市 ・檜葉町 ・富岡町 ・大熊町

2 被災者の心のケア事業【全庁重点・所重点】

(1) 巡回訪問等の支援活動

被災者支援を円滑に行えるよう、ふくしま心のケアセンターいわき方部センター（以下、「ふくしま心のケアセンター」という。）と会議・打ち合わせを行うとともに、被災者のPTSD（心的外傷後ストレス障害）やうつ病、アルコール問題等の心の問題に対応するため、同行訪問を行いました。

ふくしま心のケアセンターと会議・打合せ：2回

同行訪問：延べ8人

(2) 被災者支援に係る市町村等との連携

1 被災者支援に係る市町村等との連携強化事業【所重点】

(1) 避難元市町村及びいわき市との連携業務

ア 市町村との打合せ

避難者に対する健康支援活動が効果的に実施できるよう、避難元市町村及びいわき市と情報交換や課題の整理、対応策の検討等を行いました。

■市町村との打合せ回数

単位：回

市町村	南相馬市	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	いわき市	計
回数	1	1	2	4	1	4	9	2	6	30

イ 市町村ケア会議への参加

市町村またはいわき出張所が訪問したケースについて、情報共有、今後の方針について話し合うために、市町村が開催するケア会議に参加しました。

■ケア会議の参加回数

単位：回

町	広野町	檜葉町	富岡町	大熊町	双葉町	浪江町	計
回数	9	6	6	5	1	10	37

ウ 保健事業担当者会議の開催

いわき地域に避難している住民への健康支援の調整を図るため、南相馬市、双葉郡町村、いわき市及びふくしま心のケアセンターなどを招集し、会議を開催しました。

■保健事業担当者会議の開催状況

単位：人

開催月日	議 題	参加者
平成 30 年 5 月 25 日	①平成 30 年度いわき出張所における健康支援予定について ②平成 30 年度各市町村のいわき地域における保健事業予定及び相双保健福祉事務所いわき出張所に対する要望等について ③ふくしま心のケアセンターいわき方部センターの活動について	32

また、復興公営住宅入居者に対する健康支援の調整を図るため、4 町（富岡町、大熊町・双葉町・浪江町）、NPO 法人みんぷくなどを招集し、会議を開催しました。

■復興公営住宅入居者支援実務者会議の開催状況

開催月日	議 題
平成 30 年 7 月 3 日	①復興公営住宅における集団健康支援の状況と今後の方向性について ②復興公営住宅入居者支援における課題及び今後の支援体制について
平成 31 年 2 月 28 日	①復興公営住宅入居者支援における課題及び各機関の活動状況について ②今後の支援体制について

エ 母子保健事業検討会の開催

いわき地域に避難している住民のいわき市乳幼児健康診査及び乳幼児健康診査事後フォローの実施体制等の調整を図るため、いわき市、南相馬市、双葉郡町村の保健師等を招集し、検討会を開催した。

■母子保健事業検討会の開催状況

開催月日	議 題
平成 30 年 12 月 10 日	①乳幼児健康診査について ②あそびの教室について ③乳幼児健康相談会について
平成 30 年 12 月 25 日	①乳幼児健康相談会について

(2) 各関係機関との連絡調整業務

施設や他の支援団体等の関係機関等との連携や情報交換をとoshi、避難者の課題やニーズの把握に努め、課題の整理や関係機関間の調整を行いました。

関係機関、団体主催の会議への参加：21 回

2 双葉郡町村・南相馬市連携介護予防等事業

本所では、南相馬市・双葉 8 町村が相互利用可能な事業の情報を取りまとめ、周知用資料の作成・配布を行いました。実施された相互利用可能な事業には、平成 30 年度 10 月 31 日時点で、他市町村から延べ 899 人が参加し、全体で延べ 4,306 人が参加しました。

(3) 母子保健対策の推進

1 子ども健やか訪問事業

震災により、避難生活を余儀なくされている子ども（1 歳児、4 歳児及び継続支援を必要とする児）がいる家庭を訪問し、心身の健康に関する相談、生活・育児に関する相談等に対応することにより、子育て家庭の不安の軽減を図りました。

■子ども健やか訪問実施件数

市町村	年齢	対象数 (人)	訪問実数 (人)	訪問延数 (人)	実施率 (%)
南相馬市	1 歳	4	4	4	100
富岡町	1 歳	41	30	33	73
	4 歳	42	13	14	31
大熊町	継続	1	1	3	100
浪江町	1 歳	29	23	23	79
	4 歳	38	13	13	34
	継続	3	3	5	100
計		158	87	95	55

実施率＝訪問実数÷対象数×100（小数点第一位を四捨五入）

訪問辞退者への電話による支援：56人

2 市町村母子保健事業指導事務

(1) いわき市の乳幼児健康診査への協力

事後支援の必要な幼児等が増えている状況を踏まえ、いわき市が実施する4か月児健康診査、10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査において、事後支援にかかる情報を現場から把握し、各市町村と連携して適切な支援に結びつけることを目的として、保健師の派遣を実施しました。

派遣回数：保健師67回

■いわき市乳幼児健康診査派遣回数

単位：回

年度	いわき出張所派遣回数					双葉郡町村派遣回数※
	4か月児	10か月児	1歳6か月児	3歳児	計	
28	10	23	17	17	67	100
29	—	—	28	39	67	100
30	10	4	43	10	67	100

※平成30年度：楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町

(2) 相双地域あそびの教室の開催

発達の遅れやその疑いのある幼児の保護者が適切な養育を行えるよう、その保護者に対し心理的・技術的にサポートするため、子どもの心のケア事業による専門職派遣を活用し「相双地域あそびの教室」を開催しました。

相双地域あそびの教室開催回数：10回

参加児数：延べ110人

子どもの心のケア事業による専門職派遣

派遣回数：10回（延べ派遣人数 保育士10人、臨床心理士8人、医師4人）

■相双地域あそびの教室の実施状況

開催月日	内 容
平成30年 5月7日	①保護者に対する相談、助言、指導
6月11日	②幼児に対する発達を促す集団指導及び個別指導
7月9日	③幼児及び保護者に対する診察及び相談（医師）
8月6日	④幼児及び保護者に対する発達検査及び相談（臨床心理士）
9月10日	
10月1日	
11月5日	
12月3日	
平成31年 1月7日	
2月25日	

(3) 被災した障がい児に対する医療支援事業（発達相談会）への協力

東日本大震災により被災した障がい児（その疑いのあるものを含む。以下、「障がい児等」という。）へ児童精神科医、小児科医による医療支援を行う発達相談会に市町村から要望があった際に同席し、個別事後フォローを行うとともに、いわき市内の支援体制や社会資源活用のための情報提供等を行いました。

参加回数：1回

■発達相談会への協力状況

開催月日	内 容
平成 30 年 10 月 26 日	①診察 障がい児等を対象に診察を行う。 ②支援者に対する助言等 障がい児等の支援者（保健師等）に対し、障がい児等の支援方法について助言等を行う。

3 母子の健康支援事業

安心して子どもを産み育てる環境を整備するため、妊産婦や乳幼児を持つ保護者を対象とした家庭訪問、電話や来所相談に対応しました。

4 小児慢性特定疾病対策事業

小児慢性疾患のうち、治療法の確立していない特定の疾患に罹患している児童に対し、治療研究に必要な費用を交付し、患者家族の医療費の負担を軽減する事業の受給児童に対する療養相談に対応しました。

訪問件数：3件

(4) 保健医療体制の充実

1 精神保健医療事業（精神障がい者の措置入院等）

精神障がいによる自傷他害のおそれ又はその疑いのある者を精神保健指定医に診察させ、その結果必要と認められる者を県立病院又は指定病院に入院させる事業ですが、双葉警察署管内で保護された者はいませんでした。

2 精神訪問指導事業

精神疾患の早期治療及び精神障がい者の社会復帰の促進を図るため、精神保健福祉に関する相談対応や訪問指導を行いました。

対応件数：175件（電話相談 52件、訪問相談 123件）

(5) 自殺対策の充実

1 自殺対策緊急強化基金事業

(1) 普及啓発事業

自殺予防に関する普及啓発を図るため、9月及び3月の自殺予防週間に、家庭訪問やサロン等において啓発資材の配布等を行いました。

配布部数：150部

(2) 市町村人材育成事業

被災者の健康支援等に従事する市町村や関係機関の職員を対象とした研修を開催し、担当職員の資質の向上を図りました。

■研修会の実施状況

単位：人

研修会名	開催月日	参加者	対象
平成30年度自殺予防ゲートキーパー養成研修会	平成30年10月22日	16	生活支援相談員・民生児童委員・コミュニティ交流員・保健師・看護師等、市町村等関係機関担当者

(6) 感染症対策の推進

1 感染症予防対策事業

市町村からの感染症予防に関する相談等に対応しました。

その他、いわき合同庁舎内でのポスターの掲示や家庭訪問やサロン等における啓発資料の配布等啓発活動を実施しました。

(7) エイズ対策、肝炎対策の推進

1 エイズ対策促進事業

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図るため、レッドリボンの配布等啓発活動を実施しました。

2 保健所における肝炎相談事業

肝炎の早期発見と患者・家族等の不安の軽減を図るため、電話及び来所での相談への対応を行いました。

相談対応件数：9件

(8) 難病対策

1 難病在宅療養者支援体制整備事業

(1) 難病患者相談指導事業

いわき地域へ避難している難病患者の在宅療養を支援するため、保健師、栄養士等による家庭訪問等相談対応を行いました。(随時)

■相談対応実施状況

・来所相談：延べ人数 232人 (実人数 162人)

単位：人

実人数	延べ人数	相談内容 (再掲・延べ人数)								
		申請等	医療	家庭介護	福祉制度	就労	就学	食事栄養	歯科	その他
162	232	228	0	0	0	0	0	3	0	1

・電話相談：延べ件数 53件

・家庭訪問：延べ件数 34件 (実 23件)

(2) 難病患者医療相談事業

平成30年度はいわき市保健所と協力して開催し、いわき市保健所と当所が実施する難病医療相談会・交流会に、いわき市及び相双地域の難病患者がどちらの相談会にも参加できる形で開催しました。

当所主催の相談会は、疾病等に対する不安や悩みを共有し、身体に優しい食事を楽しみ元気になってもらうために、潰瘍性大腸炎患者の食事にテーマを絞り、管理栄養士による食事・栄養講話、調理実習、交流会、保健師・看護師、管理栄養士、歯科衛生士による個別相談をいわき市内で開催しました。

■医療相談事業の実施状況

単位：人

開催月日・会場	内容	対象疾患	参加者
平成30年8月22日 いわき市総合福祉センター	① 食事・栄養講話、調理実習 ・「潰瘍性大腸炎での食事の工夫」 ・交流会（試食） 「美味しい料理を食べながら、情報交換」 ② 歯科衛生士によるミニ講話 ・「お口の中を清潔に保つ工夫」 ③ 個別相談	潰瘍性大腸炎	3

※スタッフ：管理栄養士・保健師・歯科衛生士・看護師

2 特定疾患治療研究事業

難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく医療費助成制度による指定難病（331疾患）及び特定疾患治療研究事業の対象疾患（5疾患）の治療研究を行うとともに医療費の自己負担の軽減を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

■申請受理及び進達件数

単位：件

新規	更新	転入	変更等
28	126	0	58

(9) 生活習慣病対策の推進

1 生活習慣病予防啓発事業

「世界禁煙デー」、「禁煙週間」やたばこの健康影響などについて、庁内や復興公営住宅等でチラシの配布等啓発活動を行いました。

(10) 各種免許の交付

1 医師免許等の交付事務

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師等医療従事者の免許申請に係る事務を行いました。

薬剤師免許新規申請進達件数：1件

2 栄養士・管理栄養士指導事業

栄養士・管理栄養士の免許申請は、ありませんでした。

(11)その他相談への対応

1 不妊・不育症等で悩む方への支援事業

高度生殖医療（体外受精・顕微授精）による不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部助成に係る来所相談に対応しました。

来所相談件数：4件

2 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

患者の医療負担の軽減を図り、精神的、身体的不安の解消を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

申請件数：1件

3 遷延性意識障害治療研究事業

遷延性意識障がい者の医療費の負担軽減を図る事業ですが、申請はありませんでした。